

かわいい子には体験を!

国のいろいろな調査によって、子どもの頃の体験が豊富であるほど、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係能力などの資質・能力が高い傾向にあることがわかっています。

そこでクイズです。

①～④の空欄には、子どもの頃のどのような体験が入るのかを考え、下のA～Eから選んでください。



■子どもの頃に

①

体験が豊富な人ほど、
大人になってから、



**「経験したことのないことには何でも
チャレンジしてみたい」**

と思う割合が高い。

■子どもの頃に

②

体験が豊富な人ほど、
大人になってから



**「電車やバスに乗ったとき、お年寄り
や身体の不自由な人に席をゆずろう」**

と思う割合が高い。

■子どもの頃に

③

体験が豊富な人ほど
大人になってから、



**「友だちに相談されることがよくあ
る」**

と思う割合が高い。

■子どもの頃に

④

体験が豊富な人ほど
大人になってから、



**「けんかした友だちを仲直りさせら
れるこ**
とができる」

と思う割合が高い。

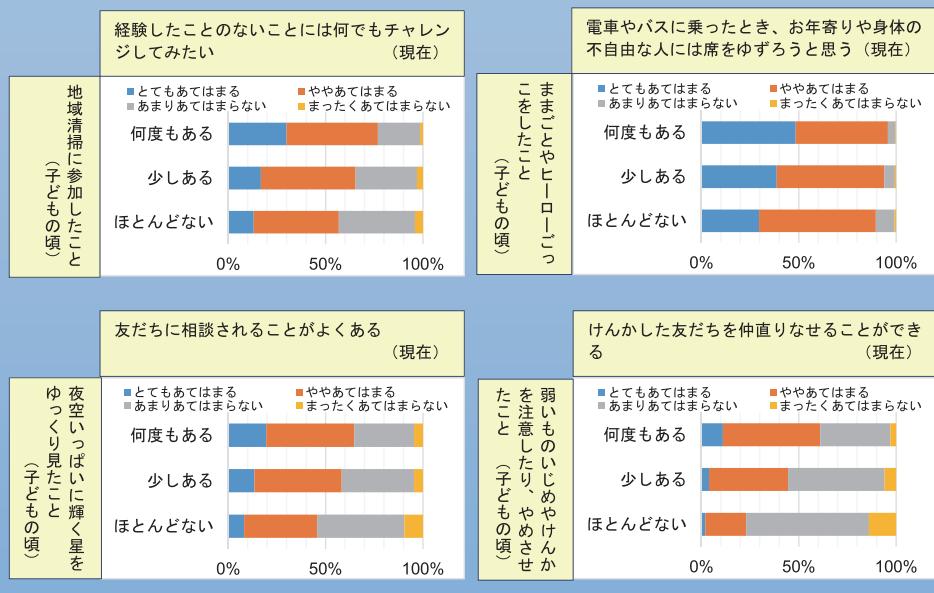


【子どもの頃の体験】

- ア 地域清掃に参加した
- イ 弱いもののいじめやけんかを注意したり、やめさせたりした
- ウ ままごとやヒーローごっこをした
- エ 夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見た

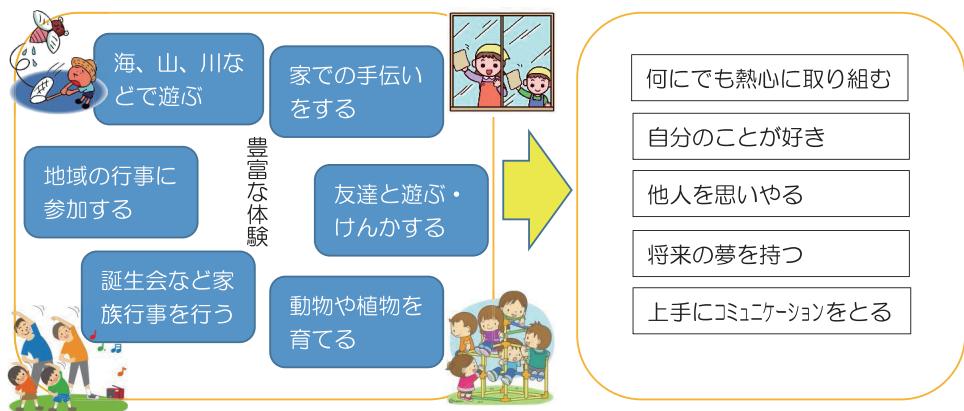
クイズの解答 ①ーア、②ーウ、③ーア、④ーイ

■国の調査結果



上記の国の調査によると、子どもの頃に「友だちとの遊び」、「地域活動」等の体験が豊富な人ほど、「経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲、関心」や、「電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずる」といった社会における「規範意識」、「友だちに相談されることがよくある」といった「人間関係能力」が高い傾向がみられます。

子どものころの様々な体験が・・・ 将来の様々な資質・能力を育むことに



「子どもの頃の体験は人生の基盤」ということが言えそうですね。